



「最新のがん医療」

・ 講師：九州大学大学院 九州連携臨床腫瘍学 准教授
徳永 えり子 先生

・ 日時：平成 26 年 11 月 17 日 (月) 18:30～

・ 場所：医学教育図書棟 3 階 第 2 講義室

★がんプロコース以外の方でもお気軽にご参加下さい。★

乳癌治療においては、手術、放射線治療、薬物療法を適切に組み合わせ
て行う集学的治療が重要である。

乳癌に対する治療方針は、腫瘍の大きさや広がり、存在部位、進行度、
生物学的特性など様々な因子をもとに決定される。乳癌のバイオロジーに
対する理解が深まるに従い、手術の意義や切除範囲、センチネルリンパ節
転移陽性症例に対する腋窩リンパ節郭清についての考え方は大きく変わ
ってきた。

薬物療法に関しても、様々なバイオマーカーをもとに生物学的特性を
評価し、最適な治療を選択する必要がある。新規薬剤の登場、臨床試験の
データの蓄積により、推奨される治療法も変化し、薬物の使い方もま
ます個別化している。

本セミナーでは最新のがん医療について、特に手術及び薬物療法に
関して概説する。

● 担当：熊本大学がんプロコーディネーター

馬場 秀夫教授 (消化器外科学分野)

● 連絡窓口：医学事務チーム教務担当 坂口 (内線：5953)

● mail: iyg-igaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp